ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03
ver.1.0

ドライブレコーダー ドラドラ DD-03

取扱説明書

ドラドラ DD-03をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品を正しく使用していただくために、事前にこの取扱説明書をお読みください。
ユーザーの安全と製品の機能を説明している「安全に関する注意」は、
特に注意してお読みください。この取扱説明書と保証書は、大切に保管してください。

※取扱説明書に記載されている画面表示ならびに写真は、実際の製品と異なる場合があります。
※本取扱説明書の内容は、予告なしに変更される場合があります。
※最新の取扱説明書は、ドラドラ・サイト（http://www.drive-drive.jp/）でダウンロードいただけます。

JAF Mate

〈 故障に関するお問い合わせ 〉

故障に関するお問い合わせの前に、本取扱説明書をご覧ください。

▶53ページ「故障かなと思ったら」

また、ホームページにも、情報を掲載しています。あわせてご覧ください。

▶ドラドラ・サイト　http://www.drive-drive.jp/

〈 それ以外のお問い合わせ 〉

■JAF MATEサポートセンター　0570-088-108
ナビダイヤルがご利用になれない場合は、03-3513-6564
土日祝を除く10時～13時、14時～17時

※「ドラドラ・サイト（http://www.drive-drive.jp/）」には、製品のFAQだけでなく、製品の詳しい情報やソフトウェアのアップデート情報なども掲載しています。

ドライブレコーダー「ドラドラDD-03」
製造／CBC株式会社 東京都中央区月島2-15-13
企画・販売／株式会社JAF MATE社　東京都港区虎ノ門3-25-2 BS虎ノ門ビル4F
Made in Korea

ドラドラ DD−03 の特徴

ドラドラDD-03は、車のフロントガラスに取り付けて使用します。万が一の事故の際、衝撃を検知して事故の状況を記録するほか、下記のような機能を備えたオリジナリティあふれるドライブレコーダーです。

1. 2.4インチカラー液晶画面を採用

PCがなくても、その場で動画のプレビューや、各種設定が可能です。

2. 好感度なタッチセンサー式のボタン

軽いタッチで操作が可能。しかも、液晶画面を見ながら直感的に操作できます。

3. カメラモード機能搭載

車からの取り外し、取り付けがワンタッチ。内蔵バッテリーで写真やビデオの撮影・閲覧ができ、必要に応じて手持ちのデジタルカメラとしても使用できます。

4. コンパクトでスタイリッシュなデザイン

あらゆる車種にマッチするコンパクトでスタイリッシュなデザインを採用しました。

Contents 目次

ご使用の前に …… 4

❶ ご使用の前に …… 5
❷ 同梱品 …… 8
❸ 各部の名前と機能 …… 9
❹ 同梱品の使用方法 …… 11

取り付け …… 12

❶ 取り付けに際しての注意 …… 13
❷ 取り付け手順 …… 14
❸ 電源ケーブルの配線 …… 15
❹ 取り付け後のチェック …… 15

基本的な使い方 …… 16

❶ 基本的な使い方 …… 17
❷ ドライブレコーダーとしての基本機能 …… 18
❸ メインメニュー …… 20
❹ 常時記録モード …… 21
❺ カメラモード …… 22
❻ ファイル再生 …… 23

機能設定 …… 24

❶ サスペンド設定 …… 25
❷ 画質設定 …… 26
❸ 音量設定 …… 27
❹ 衝撃検知レベル設定 …… 28
❺ 常時記録の自動スタート …… 29
❻ 各種設定 …… 30
現在時刻 …… 30
表示言語 …… 31
初期化 …… 32
バージョン情報 …… 33

その他の機能 …… 34

❶ AV出力 …… 35
❷ フォーマット …… 37
❸ バックアップ …… 38

ドラドラ・マネージャー …… 39

❶ ドラドラ・マネージャーの起動 …… 40
❷ ドラドラ・マネージャーの画面 …… 41
❸ メニューボタンの機能 …… 42
❹ 記録された映像の保存場所 …… 46
❺ 各種設定方法 …… 47
❻ ユーザー設定 …… 50
❼ ドラドラ・サイトにアクセスする …… 51

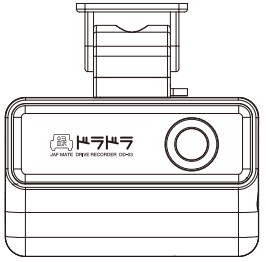
付属データ …… 52

❶ 故障かなと思ったら …… 53
❷ 仕様および動作条件 …… 54

JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

ご使用の前に

❶ ご使用の前に …… 5
❷ 同梱品 …… 8
❸ 各部の名前と機能 …… 9
❹ 同梱品の使用方法 …… 11



ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

本製品を使用する前に

❶ご使用の前に

本章には、お客様に本製品を正しく安全にお使いいただくための重要な内容が記載されています。本製品を使用する前に、よくお読みください。

1）本製品の分解、修理、または改造は絶対にしないでください。本製品の誤使用により、事故が発生する恐れがあります。誤使用が製品故障の原因であると認められた場合、保証は適用されません。

2）車内を掃除する場合、本製品に直接水がかからないようにしてください。製品の故障、火災、または感電を引き起こす恐れがあります。また、薬品や洗剤により、本体表面が変質したり、内部部品が損傷する恐れがありますので、これらも製品に触れないよう注意してください。

3）過度の衝撃を与えること、飲料をこぼすこと、あるいは異物を挿入することは避けてください。故障の原因になります。

4）本製品を取り付ける際は、確実に固定してください。取り付け後は、本製品を無理に動かそうとしたり、衝撃を与えたりしないでください。

5）長期間使用した後や、未舗装道路で激しい震動を受け続けた場合などは、動画の撮影角度が変わることがあります。そのような場合は、平坦で安全な場所に停車し、元の位置に戻してください。

6）運転中のドライバーは、液晶画面を見たり、操作を行わないでください。事故につながる恐れがあります。

7）本製品は、湿気や塩分との接触を避けてください。

8）夏の強い日差しの下など、設計上の動作温度（70℃）を超える場合は、装置が正しく動作しなかったり、故障の原因になります。特に、真夏の車内は高温になるため、車内の温度にご注意いただき、炎天下に駐車する場合などは、本製品を取り外してください。

9）SDカードを挿入する際、向きを間違えないように注意してください。以下のような使い方をすると、SDカード内の映像データが損傷することがあります。

ーSDカードまたは本体に、静電気や電気ノイズが加わる状況下での使用
ーSDカードが濡れたり、曲がったり、そのほか強い衝撃が加えられる状況下での使用
ー動作中にSDカードを引き抜いた場合

10）液晶画面に対する注意

ー本製品の液晶画面はタッチスクリーンではありません。センサーボタン以外の場所をタッチしても動作しません。
ー火の近くで液晶画面を使用しないでください。液晶画面が曲がる恐れがあります。
ー本体を低温の状態で長時間放置すると、表示画面の動きが多少遅くなったり、停止することがあります（車内が通常温度に戻ると、正常に動作します）。

11）タッチセンサーボタンについて

ータッチセンサーボタンを連打したり、2つ以上のボタンを同時に押すと、予期しない入力が起きたり、故障の原因になります。ボタンは正確に押してください。
ータッチセンサーボタンに強い衝撃を与えると破損します。
ー汚れのない乾いた手でボタンに触れてください。

12）ヘッド部

マウントを強く引っ張らないでください。故障の原因になります。

13）SDカードは消耗品です。長期間使用した場合は、SDカードを交換してください。安定して使用するために、SDカードの定期的なフォーマットをお勧めします。

14）付属のSDカードは、本製品専用です。他の製品には使用しないでください。また、本製品を複数台ご利用いただく場合も、SDカードを交換しての使用は避けてください。

15）本製品は、電子機器などの干渉を受ける場合があります。他の電子機器の近くに置かないようにしてください。

16）本製品の近くに、磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。故障の原因になります。

17）本製品を設置する場合、必要以上に強い力を加えたり、ネジを締めすぎたりしないでください。故障の原因になります。

18）本製品は、SDカードなしでも自動記録（衝撃検知による映像記録）を行います。その後、自動記録のデータは、内部メモリに記録されます。

19）本製品は、加速度が急激に変化した場合に映像を記録します。ユーザーの設定や事故の状況によっては、自動記録が行われない場合もあります。その場合は、録画ボタンを押すことで、10秒前にさかのぼって映像を記録できます。

20）SDカードの状態によっては、映像が正しく記録されない場合もあります。詳しくは本説明書「付属データ」の「故障かなと思ったら」の項目（P53）を参照ください。

21）電源を切り離すと、内蔵バッテリーとは関係なく電源がオフになります。内蔵バッテリーには寿命があります。内蔵バッテリーの交換につきましては有償にて承ります。JAF MATEサポートセンターにご連絡ください。

22）保存の必要な記録データは、本体のSDカードとは別に保存してください。本体のSDカードに記録された映像などのデータは、ユーザーの不注意や修理によって損傷したり、消去されたりします。データの損傷や遺失について、弊社は責任を負いません。重要なデータは、別のメディアに保存してください。

23）アップデートは、ドラドラ・サイト（http://www.drive-drive.jp/）を通じて提供いたします。

※本取扱説明書の内容に則さない使用を行った結果、発生した事故や本製品の故障に対して、当社は一切の責任を負わないものとします。

※本製品は、使用方法に間違いがない場合であっても、映像やデータの記録を完全に保障するものではありません。万一、映像やデータの記録ができなかった場合も、製造者、販売者、販売店は一切の責任を負いません。

❷同梱品

※製品改良のため、予告なく一部仕様が変更されることがあります。このため、写真が実物と多少異なる場合があります。

本　体

SDカード

電源ケーブル

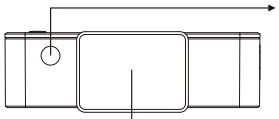
ケーブルマウント

取扱説明書

ご使用の前に
取り付け
基本的な使い方
機能設定
その他の機能
ドラドラ・マネージャー

❸各部の名前と機能

【上面】

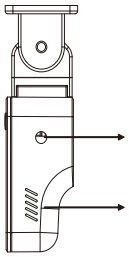


①REC/POWERボタン
ー電源オフの状態で短く押すと、電源が入ります。
ー電源オンの状態で長く押すと(いずれのモードの場合も)、電源が切れます。
ー電源オン時(カメラモード、メニュー表示時を除く)に短く押すと、手動記録を行います。
ーカメラモード時に短く押すと、写真や動画が撮影できます。

レンズ方向

②製品取り付け部(自動車のフロントガラスに接着)

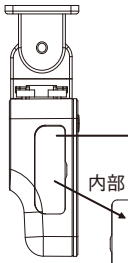
【右側】



③DC電源接続部

④スピーカー

【左側】



⑤SDカードカバー

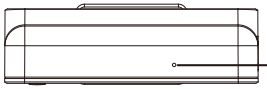
内部

SDカードスロット

メンテナンス端子
(使用しません)

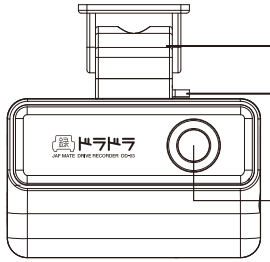
AV-OUT端子

【下面】



⑥RESET:装置の初期化スイッチ
※通常は使用しないでください。

【前面】

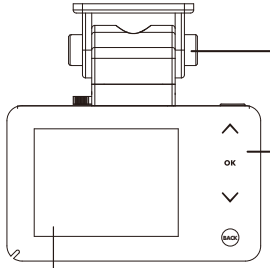


⑦ヘッド

⑧ヘッド固定ハンドル
ヘッドと本体の脱着に使用します。

⑨カメラ

【後面】



⑩ヘッドねじ
装着する場所に応じて、本体の角度を調整します。

⑪タッチボタン

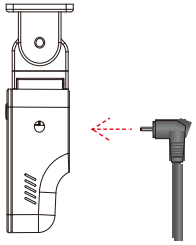
∧	メニュー画面で、カーソルを上に動かします。 ポップアップウインドウ画面で、カーソルを左に動かします。
OK	メニュー以外の画面から、メニュー画面に入ります。 メニュー画面で、項目を選択します。
∨	メニュー画面で、カーソルを下に動かします。 ポップアップウインドウ画面で、 カーソルを右に動かします。
BACK	ひとつ前のメニューに戻ります。

⑫2.4インチ液晶画面
記録映像のプレビューと本体の設定を表示します。

❹同梱品の使用方法

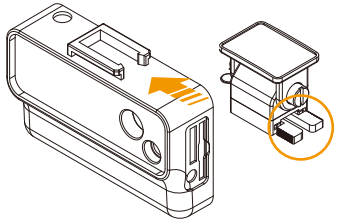
1）電源ケーブルの使用方法

自動車から電力を供給する場合に使用します。

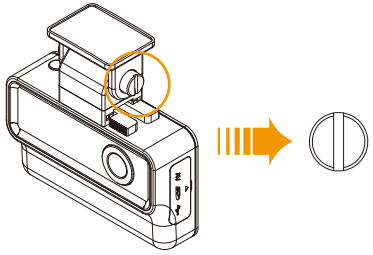


2）ヘッドの接続方法

①ヘッドのハンドルを押して、装置上面の溝にスライドさせます。「カチッ」という音がするまで、確実に押し込んでください。



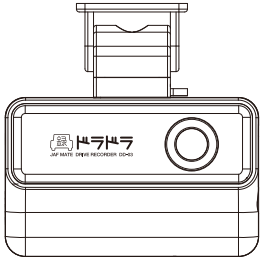
②コインなどを使用して、ヘッドねじを締めてください。ヘッドは、前後左右に角度調整できます。



JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

取り付け

❶ 取り付けに際しての注意 …… 13
❷ 取り付け手順 …… 14
❸ 電源ケーブルの配線 …… 15
❹ 取り付け後のチェック …… 15



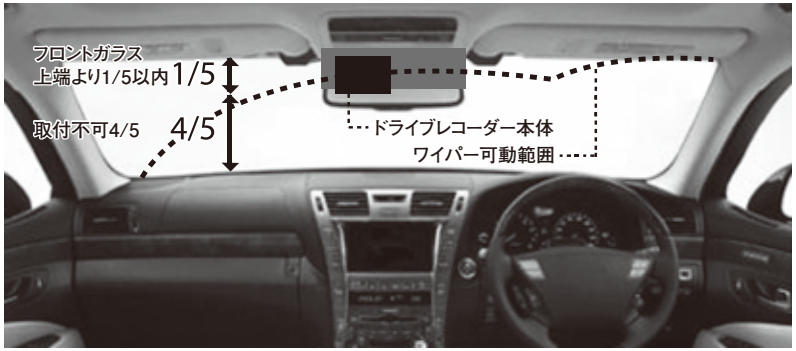
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

取り付け

❶取り付けに際しての注意

最初に、すべての部品が揃っていることを確認し、本取扱説明書をよく読んだうえで、取り付け手順に従って本製品を取り付けてください。

1.本製品を取り付ける場合は、車を水平な場所に止めてください。
2.本製品の取り付け位置は、運転者の視界を妨げない場所を選んでください。
3.本体を取り付ける際、ルームミラーの動きを邪魔しない場所を選んでください。
4.本製品を取り付ける前に、フロントガラスの取り付け部を、乾いた布などできれいに掃除してください。
5.本製品を取り付ける場合は、車内の他の安全装置に影響を与えないように注意してください。
6.本製品のレンズの前方に物やステッカーなどがあると、カメラの視野が妨げられ、動画が正しく撮影されません。本製品の前方の視界を常に確保してください。
7.本製品の周囲に他の物が配置されていると、フロントガラスに映り込む恐れがあります。本製品の周囲には、物を配置しないでください。
8.本製品の取り付けが難しくなるため、湿度の高い日の取り付けは避けてください。
9.一度取り付けた装置を取り外すと、テープの粘着力が著しく低下します。取り付ける前に、慎重に取り付け場所を確認してください。



フロントガラス上端より1/5以内のワイパー可動範囲内(写真の点線内側部分)に本体が収まるように取り付けてください。
※ドライブレコーダーは法令により取付位置が限定されています。

❷取り付け手順

※本製品を取り付ける前に、フロントガラスの取り付け部を、乾いた布などできれいに掃除してください。
※最初に電源を入れた本体を取り付けたい場所に仮置きし、液晶画面で映り方を確認することをお勧めします。

ステップ1
ヘッドに付いている両面テープのカバーを剥がします。

ステップ2
フロントガラスの取り付け場所に、ヘッドを取り付けます。

ステップ3
本体をヘッドに取り付けます。「カチッ」という音がすることを確認してください。

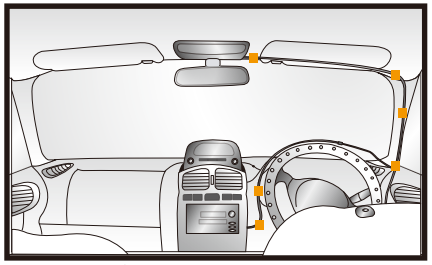
ステップ4
ヘッドねじを、コインなどを使って緩め、フロントガラスに取り付けたヘッドの角度が前方向に対して直角になるように調節してください。調節が終了したら、ヘッドねじを締めてください。このとき、ヘッドねじを強く締めすぎないようご注意ください。

ステップ5
本製品を所定の場所に取り付けたら、電源ケーブルを自動車のシガーソケットに挿入してください。

ステップ6
本製品に電源が入り、液晶画面が表示されることを確認してください。

❸電源ケーブルの配線

本製品は、電源ケーブルをシガーソケットに接続して電力の供給を受けています。電源ケーブルを配線する際、視界を妨げないように、同梱されているケーブルマウントを使用してください。ケーブルマウントの取り付け位置に決まりはありません。ご利用の環境に合わせて、ケーブルマウントを取り付けてください。



（ケーブルマウントの取り付け例）

■ケーブルマウントの使用方法

1. ケーブルマウント裏面のカバーを剥がし、任意の場所に固定します。
2. 固定したケーブルマウントに、電源ケーブルを挿入してください。

❹取り付け後のチェック

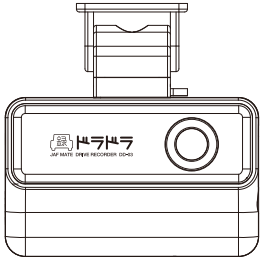
使用を開始する前に、以下の項目についてご確認いただき、使用に問題がないか確認してください。

ーフロントガラスに、本体が完全に取り付けられているかチェックしてください。
ー本体が、他の製品に邪魔されていないかチェックしてください。
ー本体を取り付けた後、試し撮りを行い、記録した動画が正しく再生されるかチェックしてください。
ーボタン操作の誤りを防ぐために、液晶画面の保護フィルムは必ず剥がしてください。

JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

基本的な使い方

❶基本的な使い方 …… 17
❷ドライブレコーダーとしての基本機能 …… 18
❸メインメニュー …… 20
❹常時記録モード …… 21
❺カメラモード …… 22
❻ファイル再生 …… 23

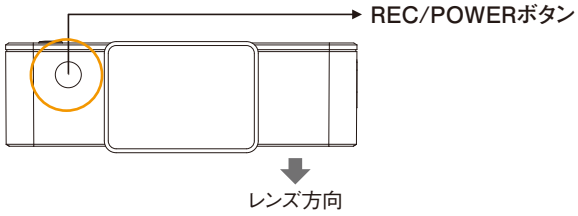


ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

基本的な使い方

❶基本的な使い方

■REC/POWERボタン



電源のオン／オフ

●電源オン

電源ケーブルを接続し、エンジンを始動すると（車両のイグニッションスイッチが入り、電源ケーブルから給電されると）、本製品の電源が自動的に入ります。

※外国車等の常時給電式のシガーソケットの場合は、電源ケーブルを接続するのと同時に電源が自動的に入ります。

本製品上部のREC/POWERボタンを短く押しても電源が入ります。

※電源ケーブルからの給電がなく、かつ内蔵バッテリーも充電されていない場合は、電源は入りません。
※フル充電された内蔵バッテリーで30分ほど駆動します（駆動時間は条件により大幅に変わります）。電池残量が少なくなると、自動的に電源が切れます。

●電源オフ

エンジンを止めると（車両のイグニッションスイッチを切り、電源ケーブルからの給電がなくなると）、本製品の終了処理が自動的に始まり、電源が切れます。

※外国車等の常時給電式のシガーソケットの場合は、電源ケーブルを外すまで電源は自動的に切れませんので、車両のバッテリー上がりなどにご注意ください。

本製品上部のREC/POWERボタンを長く押すことでも、終了処理が始まり、電源が切れます。

❷ドライブレコーダーとしての基本機能

●常時記録

映像を常に記録し続ける機能です。メニュー画面から「01.常時記録モード」を選択することで動作します。本体に電源が入ると、自動で常時記録を開始するように設定することも可能です。この設定については、本説明書「機能設定」の章から「常時記録の自動スタート」の項目（P29）を参照ください。

※常時記録により記録可能な動画ファイル数は、高画質（VGA）で2時間、標準画質（QVGA）で12時間です。映像は30秒ごとの動画ファイル（.mp4）として保存されます。それ以上の動画が記録されると、古いデータが自動的に消去され、新しいデータが記録されます。重要なデータがある場合は、別途PCに保存してください。

●自動記録

急ブレーキなどで本体が衝撃を検知すると、前後の映像（前10秒／後20秒）を記録します。また、加速度データ、時刻なども同時に記録します。これは常時記録中でも別途作動します。
通常、衝撃は事故、急ブレーキ、急カーブ、でこぼこ道などにより発生しますが、その衝撃検知レベルは任意で調整することができます。設定する衝撃検知レベルが小さい場合、小さなブレーキ操作でも検知され、映像が頻繁に記録されます。一方、設定する衝撃検知レベルが大きい場合、記録が頻繁に行われないため、小さな接触事故が記録されない恐れがあります。

●手動記録（REC）

衝撃の強さに関係なく、映像を記録する機能です。本体上部のRECボタンを押すと、その前後の映像（前10秒／後20秒）、加速度データ、時刻などが記録されます。小さな接触事故で自動記録が行われない場合などは、この機能を利用することでデータを記録できます。

※自動記録・手動記録により記録可能な動画ファイル数は、合わせて高画質（VGA）で約60件、標準画質（QVGA）で約170件です。それ以上の動画が記録されると、古いデータが自動的に消去され、新しいデータが記録されます。重要なデータがある場合は、別途PCに保存してください。

●安定した動画保存

事故時には、衝撃で電源ケーブルが外れてしまうなどで、電源が切断する恐れがあります。本製品にはバッテリーが内蔵されているため、電源が切れても肝心の映像を消失することなく、保存することができます。この場合、動画ファイルは本体の内蔵メモリにのみ記録されます。SDカードに動画ファイルを取り出すには、本説明書「その他の機能」の章から「バックアップ」の項目（P38）を参照ください。

●映像データのバックアップ機能

自動記録、手動記録に関しては、本体に内蔵しているフラッシュメモリに一旦データを記録し、その後SDカードに転送して記録を残します。そのため、SDカード内のデータが失われた場合も、本体のバックアップ機能を使用することにより直近のデータを復旧することができます。
バックアップ機能で復旧可能なデータは、自動記録、手動記録が対象です。常時記録とカメラモードによって撮影された静止画や動画は復旧できません。

●動画と車両データの分析

本体裏面の液晶画面により、映像またはカメラモードで撮影した動画や静止画をプレビュー表示することができます。またPCで付属のソフトウェア「ドラドラ・マネージャー」を使用すると、事故時の映像に加え、加速度データを見ることもできます。
液晶画面による映像のチェックにつきましては、本章「ファイル再生」の項目(P23)をご覧ください。ソフトウェアによる映像の再生につきましては、本説明書「ドラドラ・マネージャー」の章(P39)をご覧ください。

●本製品の事故データ保存条件

本製品は、以下の条件で、映像とデータが自動的に記録されます。加速度は1G=9.8m/s^{2}と定義され、衝撃量が所定の衝撃レベルを超えると自動記録が実行されます。つまり、衝撃検知レベルが設定値を超えると映像が記録されます。工場出荷時の初期設定値は、X、Y、Z軸でそれぞれ0.7Gです。また、これらは、本体のメニュー画面、またはソフトウェアによりX、Y、Z軸で異なる値を設定できます。衝撃検知レベルの設定につきましては、本説明書「機能設定」の章から「衝撃検知レベル設定」の項目(P28)をご覧ください。ソフトウェアの詳細な情報につきましては、「ドラドラ・マネージャー」の章(P39)をご覧ください。

アイコンの説明

SDカードが挿入されている
(※SDカードが表示されている場合のみ、常時録画が可能です。)

電源が本製品に接続されている

バッテリー残量表示

● REC(赤色) 記録中：常時記録、ムービー撮影(カメラモード)
● REC(青色) 記録中：自動記録、手動記録

❸メインメニュー

記録待機時(液晶画面に、レンズに映る前方映像が表示されている状態)に、OKボタンを押すとメインメニューが表示されます。このメインメニューから、様々な機能を実行することができます。

へ ：メニュー移動／音量増／前のファイル
OK：メニュー選択／一時停止／再生
﹀：メニュー移動／音量減／次のファイル
BACK：上位メニューに移動

⚠ 注意

メインメニューが開いている間は、映像を記録できません。メニューの操作は必ず、安全な場所に車を停止させている状態で行ってください。

メニューの操作が完了したら、必ずBACKボタンを押して、記録待機の状態に戻ってください。

映像記録中にメインメニューを開くと、その時点で記録はストップします。

❹常時記録モード

●常時記録

メインメニューの「01.常時記録モード」で、常時記録を行います。常時記録を開始する選択画面が表示されたとき、「はい」を選択すると、常時記録がスタートします。
常時記録をストップするにはOKボタンを押してください。

※SDカードは使用回数により劣化する消耗品です。常時記録の多用はSDカードへの負担が大きくなるため、SDカードの寿命が短くなります。
※SDカード内のデータが一杯になると、古いデータが自動的に消去され、新しいデータが保存されます。重要なデータがある場合は、別途PCに保存してください。

❺カメラモード

メインメニューの「02.カメラモード」で、デジタルカメラやデジタルビデオカメラのように写真や映像を撮影することができます。電源ケーブルを外して内蔵バッテリー駆動でも利用できます。この場合、フル充電された内蔵バッテリーで30分ほど駆動します（駆動時間は条件により大幅に変わります）。電池残量が少なくなると、自動的に電源が切れます。

●写真／動画の撮影方法

メニューから「02.カメラモード ＞ 静止画を撮影/ムービーを撮影」を選択し、OKボタンを押します。撮影対象にレンズを向け、REC/POWERボタンを押すと写真／動画が撮影され、保存されます。動画の場合、撮影中に再びREC/POWERボタンを押すと、撮影が終了します。カメラモードを終了する場合は、OKボタンを押してください。

カメラモード　静止画を撮影　ムービーを撮影

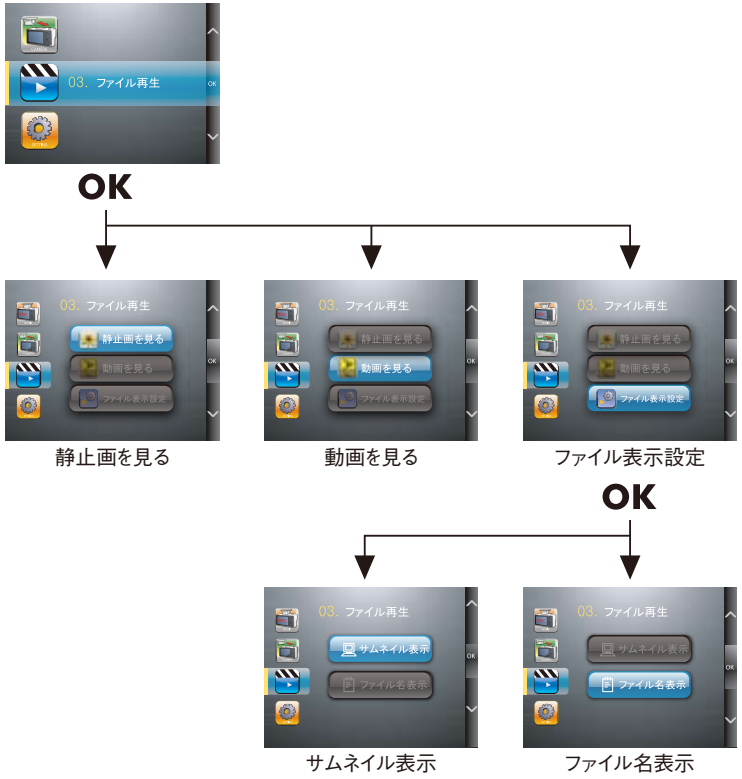
カメラモードで撮影された静止画はJPEGファイル（.jpg）で保存され、動画はMPEG4ファイル（.mp4）で保存されます。
カメラモードでは、静止画100枚、動画約20分を記録できます。これらは容量が一杯になった場合、上書きは行われません。

❻ファイル再生

メインメニューの「03.ファイル再生」で、本体裏面の液晶画面を使用して、記録した映像または静止画の記録データをプレビュー表示、再生することができます。

●写真／動画の再生方法

メニューから「03.ファイル再生 >静止画を見る/動画を見る」を選択し、OKボタンを押します。

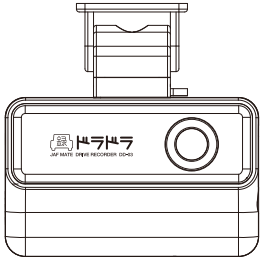


動画ファイルの場合、各ファイルは、「常時記録（MOVIE）」、「カメラモード」、および自動記録・手動記録（EVENT）で別々に保存されます。
ファイルを一覧表示する際に、「ファイル表示設定」でサムネイル表示かファイル名表示かを選択することができます。
再生中に上下ボタンを押して音量を調節することができます。また、上位メニューに進むか、再生をキャンセルするには、BACKボタンを押してください。

JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

機能設定

❶ サスペンド設定 …… 25
❷ 画質設定 …… 26
❸ 音量設定 …… 27
❹ 衝撃検知レベル設定 …… 28
❺ 常時記録の自動スタート …… 29
❻ 各種設定 …… 30



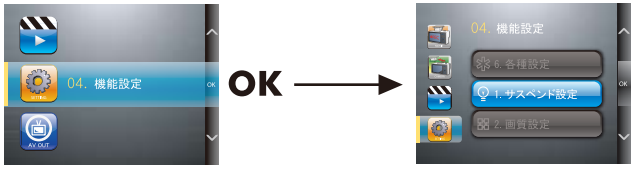
ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

機能設定

メインメニューの「04.機能設定」では、次のような様々な設定ができます。

❶サスペンド設定

「1.サスペンド設定」メニューで、運転の妨げにならないよう、任意のタイミングで液晶画面を非表示（消灯）にすることができます。本体の操作を行わない状態から非表示までの時間を30秒、15秒、10秒、5秒の4段階から選択できます。なお、初期設定は15秒です。また、「サスペンドOFF（消灯なし）」を選択すると画面を常時表示させておくことができます。その場合、液晶画面にはレンズに映る前方映像が常に表示されるようになります。

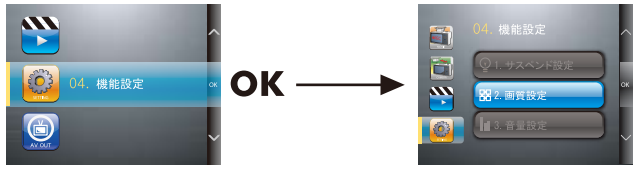


機能設定　　サスペンド設定

※法令により運転時の画面注視は禁止されています。サスペンド設定をオフにして、常時前方映像を表示させて使用する場合は、本体の取り付け位置を画面が注視できない場所にするなどの調整をしてください。
※サスペンド状態になるのは液晶画面のみで、他の機能は休止しません。
※カメラモードの場合は、本機能の設定は適用されず、サスペンド状態にはなりません。

❷画質設定

「2.画質設定」メニューで、記録する映像の画質を決定します。高画質と標準画質を選択できます。工場出荷時（初期設定）は高画質です。
標準画質（QVGA）は、高画質（VGA）より品質が多少劣ります。
メニューから「機能設定 ＞ 画質設定 ＞ 高画質（初期設定）/標準画質」を選択し、OKボタンを押します。
画質の設定により、常時記録、自動記録で記録される映像の保存可能なファイル数が変わります。詳細は本説明書「基本的な使い方」の章から「ドライブレコーダーとしての基本機能」の項目（P18）を参照ください。



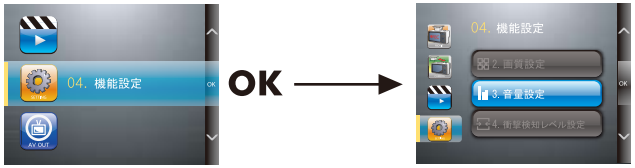
機能設定　　画質設定

高画質（初期設定）　　標準画質

※画質設定が完了するまでは、30秒ほど時間がかかります。
※標準画質で記録された動画は、PC上で再生した場合、高画質より小さいサイズで表示されます。

❸音量設定

「3.音量設定」メニューで、録音音量／再生音量をコントロールできます。上下ボタンを使用して、25段階で調整できます。録音音量を「0」にした場合、映像には音声が記録されません。また、再生音量を「0」にした場合は、映像を再生しても音声は聞こえません。
メニューから「04.機能設定 ＞ 3.音量設定 ＞ 録音音量/再生音量」を選択し、OKボタンを押します。



04.機能設定　　3.音量設定

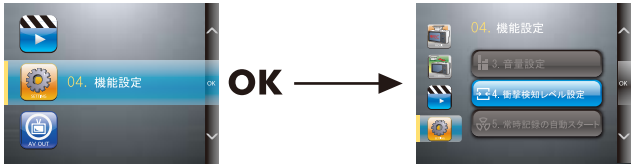
録音音量:音声記録時の音量

再生音量:ボタン音と再生音量

＜ ：音量増
＞ ：音量減
OK：完了

❹衝撃検知レベル設定

「4.衝撃検知レベル設定」メニューで、どのくらいの衝撃を検知したときに自動記録を開始するかを調整できます。OFF～1.9Gで調整できます。
メニューから「04.機能設定 ＞ 4.衝撃検知レベル設定」を選択し、OKボタンを押します。X軸（前後方向）、Y軸（左右方向）、Z軸（上下方向）の3軸それぞれで任意のレベルで設定が可能です。道路の段差などで必要以上に自動記録がされてしまうような場合は、Z軸の数値を大きくし、センサーの反応を鈍くすることで、低減が可能です。



04.機能設定　　4.衝撃検知レベル設定

X軸

レベルを設定

＜ ：低感度
＞ ：高感度
OK：完了

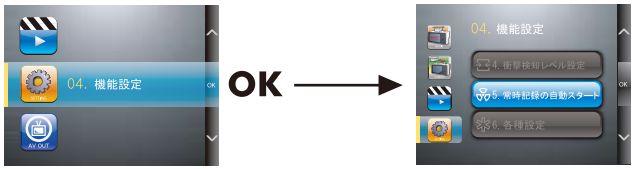
⚠ 注意

本製品は、出荷時に適切な衝撃検出レベルが設定されています。通常ご使用の場合は、改めて設定していただく必要はありません。

衝撃検知レベルの設定は、自動記録に大きな影響を及ぼします。不適切な設定がなされた場合、事故等の衝撃によっても自動記録が正常に作動しない場合があります。ご使用の環境でどうしても必要な場合にのみ、設定を行ってください。

❺常時記録の自動スタート

「5.常時記録の自動スタート」メニューで、電源オンと同時に常時記録が開始されるよう設定することができます。
メニューから「04.機能設定 ＞ 5.常時記録の自動スタート」を選択し、OKボタンを押します。



04.機能設定　　5.常時記録の録画スタート

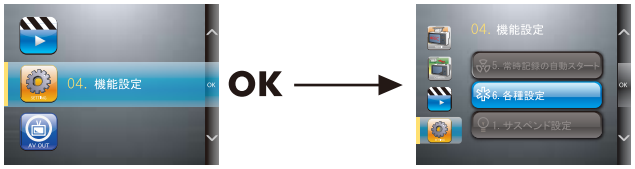
※SDカードは使用回数により劣化する消耗品です。常時記録の多用はSDカードへの負担が大きくなるため、SDカードの寿命が短くなります。
※SDカード内のデータが一杯になると、古いデータが自動的に消去され、新しいデータが保存されます。重要なデータがある場合は、別途PCに保存してください。

❻各種設定

「6.各種設定」メニューで、次のような設定が可能です。

【現在時刻】

本体の日付と時刻を設定できます。
※日付と時刻は映像やカメラモードでの撮影時にデータとして記録されますので、正しい日付と時刻を設定するようにしてください。
メニューから「04.機能設定 ＞ 6.各種設定 ＞ 1.現在時刻」を選択し、OKボタンを押します。



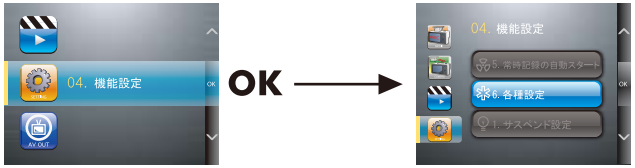
04.機能設定　　6.各種設定

1.現在時刻

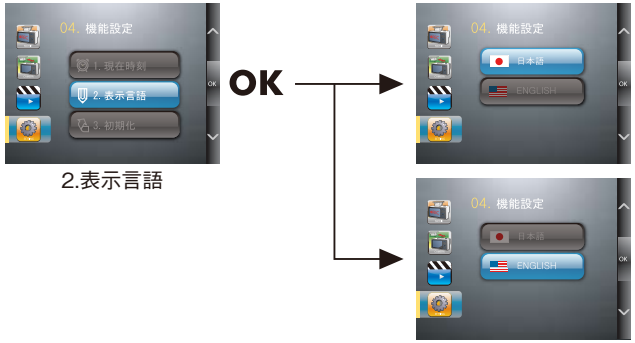
上記画面でOKボタンを押すと、画面左上で年号が選択され、点滅した状態になりますので、このとき上下ボタンにより変更できます。OKボタンを押すと、年号が確定し、次のステップ「月」に進みます。すべての設定が完了し、BACKボタンを押すと、設定が完了します。

【表示言語】

「各種設定」メニューから、本製品で使用する言語を選択できます。
メニューから「04.機能設定 > 6.各種設定 > 2.表示言語 > 日本語/ENGLISH/」を選択し、OKボタンを押します。



04.機能設定　　6.各種設定



2.表示言語

言語を選択して、OKボタンを押します。

【初期化】

「6.各種設定」メニューから、本製品の各設定データを工場出荷時の値に戻すことができます。
メニューから「04.機能設定 > 6.各種設定 > 3.初期化」を選択し、OKボタンを押します。

04.機能設定　　6.各種設定

3.初期化

【バージョン情報】

「4.各種設定」メニューから、本製品に関する情報やシリアル番号を確認できます。
メニューから「04.機能設定 ＞ 6.各種設定 ＞ 4.バージョン情報」を選択し、OKボタンを押します。

04.機能設定

OK

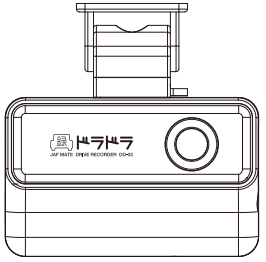
6.各種設定

4.バージョン情報

JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

その他の機能

❶ AV出力 …… 35
❷ フォーマット …… 37
❸ バックアップ …… 38



ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

その他の機能

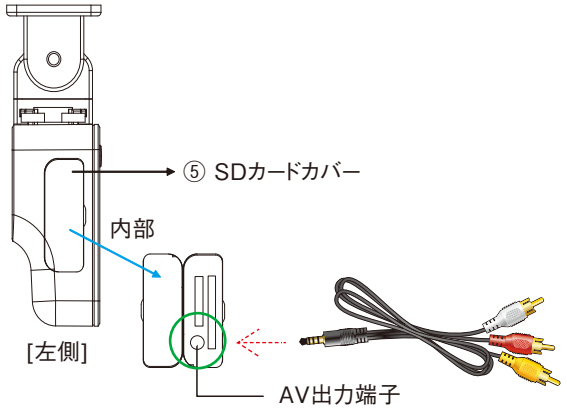
❶AV出力

メインメニューの「05.AV出力」で、本製品の液晶画面に表示されている画面をテレビなどの外部装置に出力することができます。
メニューから「05.AV出力」を選択し、OKボタンを押します。

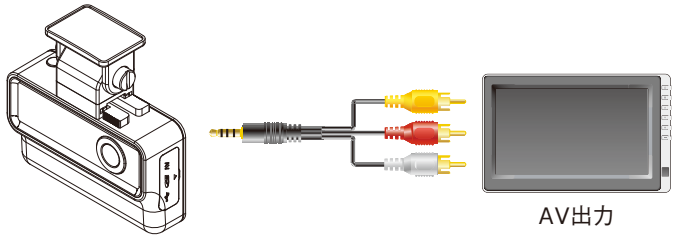
AV出力

※この機能が実行できるのは、テレビなどのAV端子と本製品が接続されている場合のみです。

●AV端子の位置



※AVケーブルは必ず純正オプション品をご利用ください。他のケーブルでは、利用できない場合があります。

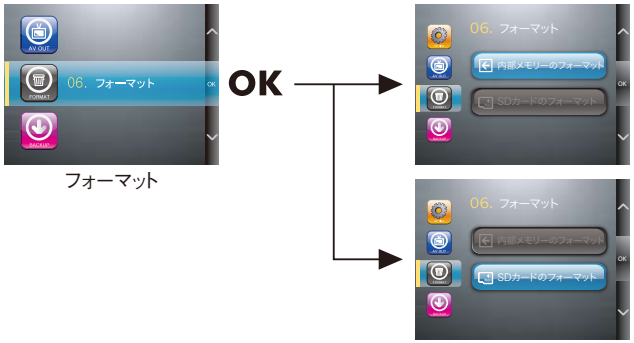


AV出力

本製品のAV-Out端子と、AV装置のAV-In端子（ビデオIn、オーディオIn）を接続します。操作は、それぞれのAV機器の使用方法に添って行ってください。

❷フォーマット

メインメニューの「06.フォーマット」で、内蔵メモリ／SDカードのすべてのデータを消去できます。メニューから「06.フォーマット」を選択し、OKボタンを押します。



フォーマット

フォーマットするメモリを選択した後、OKボタンを押します。

※一度消去したデータは戻りません。SDカードや内蔵メモリ内に必要なデータがある場合は、必ずパソコンなど別の機器にバックアップを取ってください。

❸バックアップ

メインメニューの「07.バックアップ」で、内蔵メモリにある自動記録と手動記録のデータをSDカードにコピーすることができます。

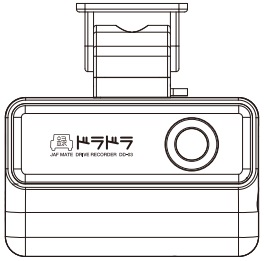
バックアップ

※「常時記録」によるデータは、直接SDカードに記録されます。内蔵メモリには記録されていませんので、この機能でSDカードにコピーすることはできません。
※内蔵メモリに記録される映像データのファイル数は、高画質（VGA）で約60ファイル、標準画質（QVGA）で約170ファイルです。
※この機能は、SDカードに2GB以上の空き容量がある状態で使用してください。
※本機能を利用する場合は、必ずSDカード内のデータを別の機器に移しておいてください。これを行わず本機能を利用すると、SDカードのデータの一部または全部が失われる可能性があります。
※本機能が作動している間は、映像などデータの記録ができません。本機能は必ず安全な場所に車を停止させている間に作動させてください。
※本機能は、内蔵バッテリー駆動時には使用できません。必ず電源と接続されている状態で行ってください。

JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

ドラドラ・マネージャー

❶ドラドラ・マネージャーの起動 …… 40
❷ドラドラ・マネージャーの画面 …… 41
❸メニューボタンの機能 …… 42
❹記録された映像の保存場所 …… 46
❺各種設定方法 …… 47
❻ユーザー設定 …… 50
❼ドラドラ・サイトにアクセスする …… 51



ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

❶ドラドラ・マネージャーの起動

本製品には、記録した映像や加速度データなどをPCで確認できるソフトウェア「ドラドラ・マネージャー」が付属しています。ドラドラ・マネージャーはSDカードに同梱されています。なお、カメラモードで撮影した映像や静止画は、ドラドラ・マネージャーでは再生できません。

1.SDカードをPCへ接続します。
2.SDカード内の［PROGRAM］フォルダを開きます。
3.［PROGRAM］フォルダ内のオレンジ色のアイコン［DORADORA Manager.exe］を実行します。
※PCの設定によっては、最後のファイル拡張子「.exe」が表示されない場合があります。

⚠ 注意

SDカードリーダー（PC内蔵の場合はSDカードスロット）は、対応するSDカード容量に制限がある場合があります。付属のSDカードが制限容量以上の場合、以下の症状が発生する場合があります。

・PCのドライブ一覧には「リムーバルディスク」や「SD」と表示されるが、正常に認識ができない（ずっと読み続ける、「フォーマットされていない」のエラーメッセージが表示される、など）
・ドライブからは問題なく認識できるが、ドラドラ・マネージャーでSDカードを認識しない
・問題なく認識できているように見えるが、すべてのカード容量のうちの一部（たとえば、4GBのうちの2GB分のみ）しか認識できない

上記症状が発生した場合は、別途、付属SDカード容量と同等のカード容量の読み込みに対応するSDカードリーダーをご用意ください。また、PCもしくはSDカードリーダーのメーカーホームページ等では、対応するためのドライバの更新ソフトウェアを配布している場合があります。これを適用することで解決する場合もあります。

❷ドラドラ・マネージャーの画面

ドラドラ・マネージャーを起動すると、下記のような画面が表示されます。

画面の構成は以下のとおりです。

① ビデオディスプレー …… この画面で動画を再生します。
※画質設定(P26)により、標準画質で撮影された動画は、高画質(初期設定)のものより小さいサイズ(約1/4)で再生されます。
② ファイルリスト …… 検索、または再生したファイルの一覧が表示されます。
③ グラフディスプレー …… 加速度をグラフで表示します。
④ 進行バー …… 動画の進行状況を表示します。
⑤ 日時 …… 再生している動画が撮影された日時を表示します。
⑥ アクセラレーション …… 加速度を数値で表示します。
⑦ メニューボタン …… 動画再生などの機能があります。
⑧ 音量 …… 音量を調整します。
⑨ 各種設定ボタン
⑩ ドラドラ・サイトへのリンク

⚠ 注意

ドラドラ・マネージャーの使用には、PCの画面解像度が、1024×768ピクセル必要です。画面解像度がこれよりも低いと、正しく操作することができません。この場合、画面解像度が800×600ピクセル以上のPCでご利用いただけるドラドラ・マネージャーGDI版をご利用ください。
ドラドラ・マネージャーGDI版は、ドラドラ・サイト(http//:www.drive-drive.jp/)にて配布しています。
また、PCのOSによって通常のドラドラ・マネージャーが使用できない場合があります。この場合もドラドラ・マネージャーGDI版をご利用ください。

❸メニューボタンの機能

ここでは、ドラドラ・マネージャーのメニューボタンの機能について記載しています。

● ファイルを開く

動画ファイルを開くためのアイコンで、複数のファイルを一緒に開くことができます。

● SDカードのファイルを開く

SDカード内のすべてのデータを左側のファイルリストに表示します。
ファイルリストの動画ファイルをクリックして簡単に動画を再生できます。

ファイルの検索

動画ファイルを検索します。検索ボタンをクリックすると以下の画面が現れます。

上の画面のようにフォルダのみ指定した状態で確認ボタンをクリックすると、すべての動画ファイルを検索してファイルリストに表示します。

1.最初に、[検索するフォルダを指定]ボタンを押し、ファイルを探すフォルダを指定します。
2.日付別に検索する場合は、記録の最初の日から最後の日を指定して左側のボックスをチェックしてから[OK]ボタンをクリックします。1日だけ検索する場合は1つのボックスのみチェックしてください。
3.車体番号、ドライバー氏名、管理番号など、ユーザー設定で保存されたデータを選択できます。左側のボックスをチェックした後、[OK]ボタンをクリックします。車体番号、ドライバー氏名、管理番号などの設定は、「ユーザー設定」の項目(P50)をご参照ください。
4.すべての検索は複数の条件(AND検索)で検索可能です。

データダウンロード

SDカードの動画ファイルをPCにダウンロードする機能です。SDカードをPCに接続した状態でダウンロードボタンをクリックすると下の画面が現れます(PCにSDカードスロットがない場合は、別途SDカードリーダーが必要になります)。

保存された動画ファイルの中でダウンロードするデータの左側のボックスにチェックします。チェックをしたあと、[OK]ボタンをクリックします。
保存場所選択ウィンドウが出るので、任意の保存場所を設定し[OK]ボタンをクリックします。
※このときの保存場所は、必ずSDカード以外の場所を設定してください。

ドラドラ・マネージャーのユーザー設定機能で製品番号別に管理者設定値を入力した場合、ダウンロードダイアログ窓の上の部分にシリアル番号、車体番号、ドライバー氏名、管理番号が一緒に表示されます。

● 現在画面の印刷

表示されている画面をプリントアウトします。

● 加速度グラフの詳細表示

加速度をグラフで表示します。

● 加速度データの取り出し

動画ファイルから加速度（Gデータ）のみを抽出する機能です（テキストファイルが生成されます）。

● 再生ボタン

再生　前のフレームを表示（コマ戻し）　ポーズ（一時停止）

停止し最初に戻る　次のフレームを表示（コマ送り）

● 本ソフトウェアについて

ドラドラ・マネージャーのバージョン、本体ファームウェアのバージョン、サポートサイトなどの情報が表示されます。

❹ 記録された映像の保存場所

ドラドラで記録された映像は、SDカード内の下記のフォルダに収納されています。

1. SDカード内の［DRIVE_RECORDER］フォルダを開きます。
2. 本体のシリアル番号が記載されているフォルダを開きます。

3.本体のシリアル番号が記載されているフォルダ内の「VIDEO_CCTV」内には常時記録の映像が、「VIDEO_EVENT」内には自動記録・手動記録による映像と加速度データがMPEG4ファイル(.mp4)の動画として収録されています。また、「SNAP_SHOT」内にはカメラモードで撮影した写真(JPEGファイル)、「VIDEO_CAM」内にはカメラモードで撮影した映像が収録されています。

4.動画ファイルのファイル名は、記録方法によって、次のように区別して付けられます。
- ・自動記録…G.mp4
- ・手動記録…E.mp4
- ・常時記録…T.mp4
- ・ムービー（カメラモード）…A.mp4

※パソコン環境によっては、ファイル拡張子「.mp4」が表示されない場合があります。

⚠ 注意

SDカード内の動画ファイルを直接参照しても、映像は正しく再生できません。ドラドラ・マネージャーをご利用ください。

❺各種設定方法

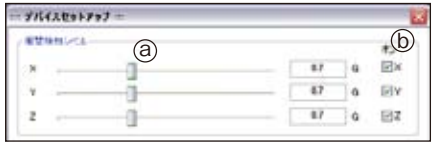
SDカードをPCに接続し、ドラドラ・マネージャーを起動します。

● デバイス設定

[デバイス設定]ボタンを押すと、ドラドラ・マネージャーの画面上に下記のサブウィンドウが立ち上がります。

① 衝撃検知レベルの設定を行えます。(P48)
② 日時設定を行えます。(P49)
③ 音声保存の有無を設定できます。
※[音声記録]ボックスをチェックした場合に、音声が保存されます。
※チェックボックスを外し、音声の録音をしない場合でも録画時間は変わりません。
④ 常時記録中の自動記録・手動記録のキャンセル機能
※本製品では使用しません。ドラドラDD-01のみの機能となります。
⑤ 画質を高画質または標準画質に設定できます。
・高画質(工場出荷時)
・標準画質(高画質の約6倍の映像ファイルを保存可能)
⑥ 常時記録の作動の設定
ドラドラの常時記録の作動方法を設定します。
・オフ：常時記録をするには、ドラドラの電源が入ってから常時記録ボタンを押します(工場出荷時)。
・オン：ドラドラの電源が入ると、自動で常時記録を始めます。

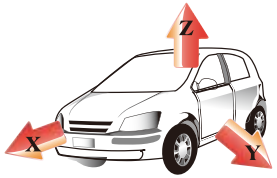
① 衝撃検知レベル設定



衝撃検知レベル設定では、自動記録を開始する際の衝撃レベルを設定できます。衝撃検知レベルは、次の2つの方法で設定できます。
ⓐ衝撃検知レベルの強弱を設定する
ⓑ衝撃検知を無効にする(キャンセル機能)

[設定方法]

1.ⓐ衝撃検知レベルの強弱を設定する
衝撃検知レベルのXYZ軸それぞれのスライダーを任意のレベルまで移動させます。
※ドラドラ・マネージャーを使用すると、衝撃検知レベルを小数点以下2ケタまで設定できますが、本体の液晶画面上では、小数点以下1ケタまでしか表示しません。



X軸 → 車両の前後方向
Y軸 → 車両の左右方向
Z軸 → 車両の上下方向

ⓑ衝撃検知を無効にする(キャンセル機能)
軸ごとに、衝撃の検出をさせない設定が可能です。特に、Z軸(縦揺れ)の衝撃による自動記録をキャンセルしたい場合にお使いください。チェックボックスを外すと、その軸での衝撃検知を無効にできます。

2.[OK]ボタンを押すと、SDカードに衝撃検知レベルが設定されます。
3.SDカードを本体に挿入して、電源を入れると設定が完了します。

⚠ 注意

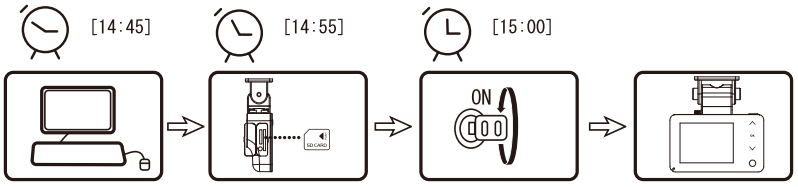
・本製品は出荷時に適切な衝撃検知レベルが設定されています。通常ご使用の場合は、改めて設定していただく必要はありません。
・衝撃検知レベルの設定は、自動記録に大きな影響を及ぼします。不適切な設定がなされた場合、事故等の衝撃によっても自動記録が正常に作動しない場合があります。ご使用の環境でどうしても必要な場合にのみ、再設定を行ってください。
・衝撃検知をX軸で無効にした場合、正面衝突などの前後からの衝撃が検知されません。また、Y軸で無効にした場合、出会い頭の事故など、側方からの衝撃が検知されない可能性があります。X軸、Y軸のチェックボックスを外す場合は、その危険性を十分にご理解のうえ、設定してください。

② 日時設定

日時設定は、本体液晶画面による操作の方が簡単に行えますが、ドラドラ・マネージャーを使用して行うこともできます。

[設定方法]

1.日付は、カレンダーから選択します。
2.時刻も設定する場合は、本体の電源をONにする時刻を入力します。
（下の例をご参考下さい）
3.[設定時間確認]ボックスにチェックをつけて、[OK]ボタンをクリックします。SDカードに設定された日時が記録されます。
4.SDカードを本体に挿入して本体に電源を入れると、自動で設定が行われます。



キーをONにする時刻を15時※に設定
※時刻は任意に設定できます

取り付けした車へ行き、設定を書き込んだSDカードを挿入

15時になったらキーをONにする

電源が入ると、自動で時刻設定が行われます。

⚠ 注意

・各設定は本体にSDカードを挿入して電源を入れると設定が反映されます。
日時の設定を行う際は特にご注意ください。
・本体の内部時計は長期間使用すると、若干の誤差が発生する場合がありますので、
年に1～2回程時刻を補正してください。

❻ユーザー設定

メニューのユーザーセットアップボタンをクリックすると下のダイアログが現れます。
シリアル番号ごとに、車体番号、ドライバー氏名、管理番号の設定ができます。

[設定方法]

1.シリアル番号と車体番号、ドライバー氏名、管理番号を入力後、[追加]ボタンをクリックして追加します。シリアル番号と車体番号、ドライバー氏名、管理番号の中で1つは必ず入力して下さい。
2.リストに追加されたことを確認した後、[保存]ボタンをクリックして保存します。

[設定を削除する方法]

1.リストから削除するシリアル番号をクリックします。
2.[削除]ボタンをクリックして削除します。
3.リストから削除されたことを確認後、[保存]ボタンをクリックして保存します。

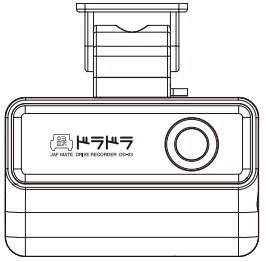
❼ドラドラ・サイトにアクセスする

ドラドラ・マネージャーの画面左上にあるドラドラのロゴをクリックするとホームページ「ドラドラ・サイト」にアクセスすることができます。「ドラドラ・サイト」では、ドラドラに関する最新情報の確認や、更新用ファームウェア等の配布、動画の投稿、他のユーザーによる投稿動画の閲覧、運転タイプの鑑定などができます。

※「ドラドラ・サイト」はインターネットに接続しているPCでのみ閲覧が可能です。

JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

付属データ



ドラドラ
JAF MATE DRIVE RECORDER DD-03

付属データ

❶故障かなと思ったら

点検・修理を依頼する前に、本取扱説明書をお読みになり、以下の症状について問題の解決をお試しください。

1）映像が正しく記録されない

1-1）SDカードが本体に挿入されているか確認してください。

1-2）SDカードが、付属の製品であるか確認してください。そのほかのSDカードでは、映像を正しく記録できないものがあります。

1-3)SDカードの側面についているツメが「LOCK」の状態になっていないか確認してください。

1-4）衝撃検知レベルの設定内容によっては、小さな衝撃が検知されず、映像が記録されないこともあります。

2）フロントガラスの内側に明るい色の物体や発光物体があると、特に夜間、ガラスに反射して映像が見にくくなることがあります。

3）音声が記録されない場合、録音音量の設定が「0」になっていないか、ドラドラ・マネージャーでチェックマークがオフでないかを確認してください。

4）映像品質が良くない場合、本体のレンズが汚れていないかチェックし、汚れている場合はガラスクリーニング用の布などでやさしく汚れをふき取ってください。

5）映像に空や地面が映り過ぎている場合、液晶画面を見ながらカメラを上下左右に調整し、適切な位置に調整してください。

6）本体の電源が入らない場合、本体の電源ケーブルが車のシガーソケットに正しく接続され、通電しているかを確認してください。

❷仕様および動作条件

標準動作電圧	12V～24V
最小動作電圧	9V
最大動作電圧	32V
最大消費電力	約2.5W
動作温度	-20℃～70℃
保管温度	-30℃～85℃
動画フレーム数	最大26フレーム／秒
動画圧縮方法	MPEG
動画記録時間	事故の前10秒／後20秒（合計30秒）
最小動作輝度	1lux
カメラレンズ画角	120°（対頂角）
カメラ解像度	30万画素
サイズ	89 x 56 x 26 (mm)
重量	113g（ヘッド含む）